

広報委員会 (第23期第5回) 議事要旨

1. 日 時 平成28年9月7日(水) 10:00~12:05
2. 場 所 日本学術会議 2階 大会議室
3. 出席者 小松 久男委員長、那須 民江副委員長、佐藤 岩夫委員、嶋田 透委員、笠原 忠委員、萩原 一郎委員、山崎 典子委員
日本学術会議事務局：小林課長、河北、笹川、信澤
参考人：谷口日本学術協力財団常務理事、末次同職員、大竹暁編集委員会副委員長、石田寛人同委員、狩野光伸同委員(スカイプ出席)、安成哲三同委員(スカイプ出席)

【配布資料】

- 資料1 出席者一覧
- 資料2 広報委員会(第4回)議事要旨(案)
- 資料3 編集委員会議事録(案)
- 資料4 『学術の動向』のリニューアルについて
- 資料5 編集委員会企画による特集テーマ案
- 資料6 各委員からのオリジナルの提案
- 資料7 『学術の動向』平成28年10月号以降の特集等掲載記事一覧
- 資料8 『学術の動向』特集記事企画案等の提出状況について
- 資料8-1 平成29年2月号若手アカデミー特集②企画案
「世代の知をつなぐ地方創生とイノベーション」
- 資料8-2 特集記事記載希望企画案
「ケアサイエンスの構築をめざして」(仮)
- 資料9 特集記事候補一覧

- 参考1 日経アジアレビュー掲載記事
(「学術の動向」平成28年7月号吉岡齊先生の記事の英訳版)

議 事

- (1) 前回議事要旨案の確認
特段の修正意見がでなかったため、標記議事要旨を確定することとした。
- (2) 『学術の動向』の編集について
※ 編集委員会の議事の詳細については、同委員会事務局として財団が事務処理を行う

ため省略するが、次のような点について審議された。

- ① 編集委員会の企画する特集記事について、6件の企画内容案の確認が行われた。記事作成の方法や記事の目標（問題提起のみか、合意形成までか）について意見交換がされた。特集によっては、編集委員会自らワークショップやシンポジウムを企画することも必要であるとの意見が出た。シンポジウムを基にした記事については、掲載について事前に連絡をとることや、録音から文字起こしを行うことも提案された。
- ② 「学術の動向」特集企画案「ケアサイエンスの構築をめざして」について、分野横断性と社会ニーズにより意識した形になるよう企画案の再提出が求められた。「世代の知をつなぐ地方創生とイノベーション」は企画案通り了承された。
- ③ 今後の特集記事候補については、メールにて意見を交換することとなった。

(3) 今期の広報活動について

- ・小松委員長から、幹事会にて、10月の総会時（10月7日午後）に会員に対して小松委員長と吉川日本学術協力財団会長が「学術の動向」について説明を行う時間が設ける決定がされたとの報告があった。
- ・小松委員長から各委員に対して、より一層の「学術の動向」に対する理解と協力が得るよう、部会等の場でも会員たちに「学術の動向」について説明をして欲しいとの要望があった。

以上